

製品名: AFP (1J18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06665**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50,IF-P 1:50-1:200
分子量	69kDa

抗原情報

遺伝子名	AFP
別名	Alpha fetoglobulin; Alpha fetoprotein precursor; FETA; HPAFP;
遺伝子 ID	174.0
SwissProt ID	P02771
免疫原	ヒト α 1 フェトプロテインの合成ペプチド

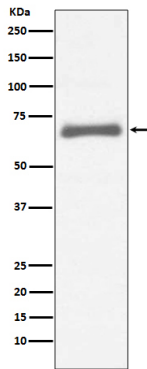
背景

アルファフェトプロテイン（AFP）は、哺乳類の胎児肝臓、卵黄嚢、消化管に存在する 65 kDa の糖タンパク質です。正常な成体細胞では、p53 が AFP 遺伝子のリプレッサー領域に結合し、転写を阻害します。p53 と β -カテニンの両方の変異は、AFP の異常発現と関連しています。研究では、血清中の AFP 値の上昇は肝細胞癌の予測因子であることが示されています。AFP は銅、ニッケル、脂肪酸と結合しますが、ビリルビンとは血清アルブミンよりも結合性が低くなります。ヒト AFP のごく一部（2%未満）のみがエストロゲン結合特性を示します。

研究分野

癌

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の AFP 発現のウェスタン ブロット分析。